

## 平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			久米島農林水産業活性化推進事業	H24 ～ H33					
1			海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	H24 ～ H27	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行う。	・実証施設の整備 ・実証事業の実施	10アール当たりの収穫量把握 生産コスト等の課題抽出	・平成27年度に実用化開始 ・直営にて実証事業を行う。	
1			漁港施設機能強化事業	H25 ～ H30	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港に製氷施設及び漁船巻揚機(ウインチ)を設置するを行う団体へ支援を行う。	製氷施設の整備 漁船巻き上げ機(2基)の導入	製氷施設整備率100% 巻き上げ機整備率(全体12基)50%	平成28年度供用開始 製氷施設整備による利便性の向上及び荒天時(台風等)に大型漁船を避難できる体制を整備し、漁民の労働負担や経費負担を軽減する。	
1			久米島町循環型農業促進事業	H25 ～ H28	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築するため、町営堆肥センターの生産性の向上を図り、堆肥活用促進の機能強化を行う。	・運搬車両(1台)の導入 ・堆肥すじ撒き機(1機)の導入	農業機械導入(2台)による堆肥活用促進体制の確立	(今後の展開方針) H28年度 袋詰め機導入	
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。	・優良雌牛導入 54頭	・優良雌牛導入率:35% (導入予定:240頭)	(今後の展開方針) 助成件数(累計) H33年度:240頭	
1			くめじま山羊振興活性化事業	H25 ～ H27	本町の山羊食文化及び山羊肉の地産地消の推進を図るため、優良品種山羊の導入と普及、山羊牧場の建設、「くめじま山羊」のブランド化を確立し全町的な肉用山羊生産供給体制の整備を行う。	優良品種導入(15頭) 家畜計量機(1台) 人工授精用保管器(1台)	優良品種導入率:100%	(今後の展開方針) ・優良品種の増頭 ・農家への普及	10月変更 (事業追加)
1			農産物出荷貯蔵施設整備事業	H26 ～ H27	本町の露地野菜の生産体制強化を図るためプレハブ冷蔵庫の設置を行う。	野菜用プレハブ冷蔵庫の整備	・出荷商品の品質保持体制の確立	平成28年度供用開始 冷蔵保管により商品の品質を保ち出荷し農家所得向上に繋げる。	10月変更 (事業追加)
2			久米島特産品開発・販路開拓事業	H24 ～ H33					
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。	島外での展示会開催数 5回 商品開発試作品製作数 5点	・反物売上額 7,000万円 ・小物売上額 1,000万円	久米島紬の伝統技能を保持しつつ現代のニーズにあった商品を開発販売することにより、伝統工芸品としての久米島紬を受け継いでいく。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	海洋深層水全国展開事業	H24 ～ H28	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。	・商談会への参加社数 2社 ・パンフレットの配布数 500部 ・商談会面談者数 200名	・商談会面談者数 200人 ・商談(取引)成立数 3件	県外の販路開拓を行える体制を構築する。		
2	久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ H33	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発のコーディネーターを配置する他、既存商品の改良や知名度向上のため県内・県外で開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会を実施する。	・物産展の開催・参加 10回 ・講習会・勉強会の開催 10回 ・既存商品改良参加事業所 4社 ・ブラッシュアップ参加事業所 9社 ・アンテナショップ設置及びコーディネーター配置 1名	・物産展等における販売額 2,500万円 ・ビジネス戦略・マーケティング戦略勉強会 7社受講 ・既存商品改良数 4点 ・ブラッシュアップ商品数 5点 ・アンテナショップ販売額(久米島関連商品) 1,200万円	・3年計画で、久米島の製造事業所の支援を行う。 ・本事業で開発された商品のブランド化に繋げる。 ・既存商品改良の販売額 H30年度:110万円 ・ブラッシュアップ商品販売額 H30年度:400万円 ・アンテナショップ販売額(久米島関連商品) H30年度:2,300万円	5月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 7月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
3	久米島観光誘客促進事業	H24 ～ H33						
3	久米島観光誘客支援事業	H24 ～ H33	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動、閑散期対策として団体ツアー商品造成等を実施し、観光産業の振興を図る。	観光案内人2名配置 イベント開催(3件) 広報推進事業 広報活動 7件 団体ツアー商品造成 40件	観光情報案内及びニーズを把握し、観光満足度向上を図る。 ・入域観光客数 H26年92,721人(基準年) 今年度99,000人 ・イベント参加人数 H26年度758人(基準年) 今年度880人 ・広報推進事業 広報活動 7件/久米島の認知度向上	H27～H33 観光案内人2名配置 イベント開催 H28年度(中間年)参加者 920人 H33年度(最終年)参加者 1,070人	7月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 10月変更 (計画変更に伴う事業内容、活動目標変更)	
3	久米島観光プロモーション事業	H25 ～ H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	・国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進 ・観光PR映像を活用した誘客促進	・WEBプロモーション件数:2社 ・テレビ番組県外放映:1件	国内大手のWEBエージェントにて久米島の春夏秋冬の情報を4回発信する。併せてマスメディアによるPRを行う。情報の拡散効果を図るためFacebookも活用する。		
3	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ H28	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。	・民泊の営業許可の取得件数 10軒 ・体験プログラム・開発・改良件数10件	・修学旅行入域者数 800人 ・体験プログラム利用者数 1,200人	修学旅行 H28年度(中間年)入域目標 900名 H33年度(最終年)入域目標 1,800名		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	スポーツ合宿誘致事業	H26 ～ H33	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。	陸上合宿誘致 パークゴルフ大会誘致	陸上合宿 4件 パークゴルフ大会 1件(島外参加者数100人)	温暖な気候を生かした冬季におけるスポーツ合宿やパークゴルフ大会を誘致する。 H28年度 19件(継続を含めて)		
3	航空路線拡充対策事業	H26 ～ H33	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う。 新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う。	チャーター便運航数:38便 要請及び調査活動:4回 新規航空会社誘致体制の確立	H28年度(中間年) チャーター便運航数:40便 要請及び調査活動:6回 H33年度(最終年) チャーター便運航数:40便 新規参入航空会社 1社		
4	久米島観光客受入体制整備事業	H24 ～ H28						
4	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24 ～ H27	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場関連施設の整備を実施する。	久米島野球場バックネット改修工事	久米島野球場施設使用 6団体	H27年度供用開始 スポーツ関連施設を充実させ、プロスポーツ等キャンプの継続及び新規誘致に繋げる。		
4	安心安全な観光まちづくり事業	H25 ～ H28	安心安全な観光まちづくりを目指し、主要避難場所である具志川農村改善センターに非常用電源を整備する。	非常用発電機 1基	避難所の防災体制強化	(今後の展開方針) H28年度:避難所及び避難道の測量設計調査 H29年度:避難所及び避難道の整備		
4	バス停上屋整備事業	H26 ～ H28	快適な観光地づくりを目指し、観光施設周辺のバス停の雨天及び直射日光の強い日差し対策としてバス停上屋の整備を行う。	バス停上屋を3カ所整備	バス停上屋整備率:83% (整備予定:6カ所)	(今後の展開方針) H28年度:1カ所(整備率100%)	7月変更 (事業追加)	
5	久米島環境保全・美化推進事業	H24 ～ H28						
5	球美の島エコアイランド化推進事業	H24 ～ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	約400灯のLED防犯灯を整備・設置	LED防犯灯整備率:70% (導入予定:1,650灯)	H28年度:500灯設置		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
バ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			球美の島緑化推進事業	H24 ～ H27	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	・ツツジゾーン、ツバキゾーン造成及び植栽工事の実施 ・品種登録を行い園芸振興による知名度向上を図る。	ツツジゾーン、ツバキゾーン造成及び植栽工事の完了 ・品種登録を行い園芸振興による知名度向上を図る。	平成28年4月全面供用開始登録品種を増殖し花の名所とする。	12月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
6			久米島地域資源発掘・活用促進事業	H24 ～ H33					
6			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を支援する。	・景観活動団体支援3団体 ・景観形成支援2戸	・景観活動団体の支援 ・景観形成の推進	(今後の展開方針) 助成件数(累計):H33年度 ・景観活動団体支援 18団体 ・景観形成支援 18戸	
6			個性豊かな文化の振興事業	H24 ～ H33	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	・民俗芸能の保存・継承・後継者育成 ・民俗芸能発表会の開催 ・民俗芸能団体の交流事業	・3団体(山里、仲村渠、兼城)の強化 ・出演者130名、来場者600名 ・民俗芸能団体の交流事業(八重山)27名	団体の掘りおこし ・H28年度 育成団体 累計22 ・H33年度 育成団体 累計27 発表会出演団体数 ・H28年度 累計41 ・H33年度 累計81	
6			文化遺産保存活用事業	H24 ～ H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復及び貴重生物のはく製の制作を行う。	・古文書の修復、翻刻、口語訳した件数:160件 ・写真資料デジタル化:40,000点	・古文書の修復、翻刻、口語訳した割合28%(1625件中455件(累計)の修復) ・写真資料デジタル化率:100%	H28年度(中間年) 修復、翻刻、口語訳した割合40% H33年度(最終年) 修復、翻刻、口語訳した割合100%	
6			久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ H28	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	若い世代による創作現代版の組踊り作成 40名～50名参加	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく新たな歴史的な文化観光資源を創出する。	久米島でのイベント等での公演や島外での公演を行なうことで久米島の魅力のアピールを行なう。中高校生が文化の担い手として文化歴史を紹介するガイドの育成に繋げる。	
7			久米島教育環境の充実・整備事業	H24 ～ H33					
7			英語指導員配置事業	H24 ～ H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3、4年生120時間、5、6年生210時間)で実施する。	英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力を図る。	中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7		基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ~ H33	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。	基礎学力向上学習支援員配置数：小学校2校に各1名。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ2名配置し、県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	担任と学習支援員が連携を密にし、授業改善(内容、発展等)について検討する。	
7		特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。	特別支援教育支援員配置数：小学校11名、中学校3名	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	担任と特別支援教育支援員が連携を密にし、授業改善(内容、基礎力徹底等)について検討する。	
7		児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ~ H33	児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。	管内中学校生徒 876名参加	生徒派遣(876名)により多様な能力と心身の発達や育成を図る。	・遠征費に係る補助割合の検証 ・参加することができなかった生徒の検証 ・大会参加者の目標・成果の検証	
7		教育ソフト導入事業	H27 ~ H28	小学校において主要教科のデジタル教科書及び操作性に優れたノートPCを購入し、デジタルテレビや電子黒板を活用し、児童の理解度を高め、わかる授業で学習意欲を高め学力向上を図る。	・ソフトウェア購入 6小学校×6学年×4教科 ・操作端末購入 ノート型PC 39台	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。沖縄県到達度調査の正答率過去3年間平均値との差。 国語(過去平均)66.4 (目標値)67.0 算数(過去平均)67.1 (目標値)67.5	教諭の研修などを行い、よりわかりやすい授業を展開する。	
7		久米島町地域支援交流学習センター整備事業	H27	将来を担う人材育成、地域活性化、人口増及び生徒の学力向上を目的とした久米島町地域支援交流学習センターを整備し、島外から多くの留学生を入学することで地元出身の生徒及び地域との交流を通じてお互いに刺激し合う環境を構築する。	地域支援交流学習センターの設計・施工監理 改修工事 土地・建物購入 備品購入	整備により 島留学生受入体制の確保 人材育成拠点施設の確保	平成28年度供用開始 島留学者数：8名/年 通塾生徒数：60名/年 交流学習会：12回/年 交流学習者数：180名/年	5月変更 (事業追加)

H27活動目標(指標)：平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H27成果目標(指標)：平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。